

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動拠点の整備・充実		事業実施主体	市
	事務事業	コミュニティセンター整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域住民によるまちづくり活動の拠点として、また、生涯学習及び地域福祉の推進に資するため、中期整備指針等に基づき施設ごとに整備の方向性をまとめた上で、コミュニティセンターの整備を行う。				
6年度概要	① 花園コセン整備工事 ② 旧総合福祉会館解体工事 ③ 旧総合福祉会館廃棄物処理業務委託等 施設設計業務委託				
重点取組事業		市長マニフェスト	3-④	事務事業の類型	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	コミュニティセンター中期整備指針等に該当するコミュニティセンター計 2 3 館（昭和 5 6 年以前に建設された旧耐震基準に基づく施設）
意図（どのような状態にしたいか）	施設の改築等を行い、コミュニティセンターの安全性の確保と環境改善を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
① コミュニティセンター中期整備指針等に基づく整備箇所数	館	12	14	14	14	14
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
施設整備進捗割合	%	目標値	52.1	60.8	60.8	60.8	60.8
		実績値	52.1	60.8	60.8		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 施設を改修あるいは改築することで、コミュニティセンターの安全性の確保と利用環境の改善を図ることができ、目標を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		目標値					
		実績値					

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	818,606	803,329	138,002	23,174
(事業費)	円	795,956	780,877	128,217	13,389
(職員人件費)	円	22,650	22,452	9,785	9,785

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 中期整備指針等に基づき、屋島コミュニティセンターや十河コミュニティセンターを計画的に整備し、地域のまちづくり拠点づくりに努めた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 施設の老朽化に伴い、雨漏り等の修繕が年々増加していることから、①改築、②改築まで健全な状態で施設利用を可能とするため長寿命化の観点に基づいた計画的な保全、これらを 2 本の柱とした整備計画について、中間見直しを行い、それに基づき施設整備を行う。 そのほか、事業費の適正化・縮減とともに、財源確保にも努める。			

【事中・事後評価】

【事業全体概要】

6年度
概要

【事業の目的】

【事業の活動】

【事業の成果】

成果指標①

成果指標②

【コストの推移】

【評価】

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

事業予算の平準化に留意しながら、集会所整備の円滑な推進に努める。
新築案件については、(一財)自治総合センターからのコミュニティセンター助成を活用し、更なる集会所整備の推進を行う。